

令和6年度 日本大学危機管理学部 個人研究費 研究実績報告書

所属：危機管理学部 危機管理学科

資格：専任講師

氏名：田上 雄大

<p>研究課題名</p>	<p>表現行為と危機管理との問題 その2</p>
<p>研究目的及び 研究概要</p>	<p>(1) 表現行為は何らかの安全保障上の脅威となることもあれば、逆に表現そのものが脅威にさらされることもある。表現行為は常にさまざまな角度から危機管理と結びついているものである。これまでも表現の自由に対する制約や表現を阻害するさまざまな要因について研究を行ってきた。そのため表現行為とかわる諸問題について、分析を行っていく。</p> <p>(2) ウクライナにおけるこれらの事項についても比較研究として取り扱っていく。</p>
<p>研究実績の概要</p> <p>研究の進捗状況・得られた成果・今後の課題・研究実績等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研究の進捗状況 近年のウクライナの事例などをふまえて表現や文化とアイデンティティとの関係について研究した。またウクライナ法についての翻訳も行った。 ・得られた成果 表現とアイデンティティとの関係から、現在のウクライナ問題に繋がるアイデンティティの重要性を明らかにした。 ・今後の課題 これまでの成果をふまえて次年度においても引き続き研究を行う。また翻訳を進めていき、今後の我が国におけるウクライナ研究に資するものを積み重ねていきたい。 ・研究実績 田上雄大「内心の自由と社会制度」日本臨床政治学会 現代政治研究部会（2024年度第2回研究報告会）、日本大学通信教育部（令和7年3月22日） 田上雄大「87 兵器輸出に関する連邦議会議員の情報権—兵器輸出判決—（BVerfGE 137, 185）〔2014〕」ドイツ憲法判例研究会（編）『ドイツの憲法判例V』（信山社、令和7年3月30日）